

なごや市会だより

名古屋市会の議場は全国でも珍しい円形になっており、円滑な議会運営を目指し、議席を円形にしたと言われています。▶



議会の活動

令和2年(2020年)12月 第173号

9月定例会特集号

9月定例会は、9月11日から10月13日までの33日間にわたって開かれ、新型コロナウイルス感染症への対応などに関する補正予算や、条例案、令和元年度決算認定案など市長提出案件38件、議員提出議案5件についての審議などを行いました。

名古屋市会

Q 検索



名古屋市ウェブサイト(市会情報)▶

9月定例会の日程

開 会	9/11 本会議	9/16~18 本会議	9/23~29 常任委員会	9/30 本会議	10/2~9 常任委員会	10/13 本会議	閉 会
	市長提出案件について 市長より提案説明	個人質問・個人質疑 (→詳細は、2・3面)	市長提出案件について 審 査	個人質疑(→詳細は、2・3面) 市長提出案件などについて 議決(→詳細は、1・4面) 決算認定案について 市長より提案説明	決算認定案について 審 査	決算認定案などについて 議 決 (→詳細は、1・4面)	

新型コロナウイルス感染症への対応などに関する補正予算を可決・承認

■新型コロナウイルス感染症への対応などに関する補正予算7件(うち1件は専決処分)については、全会一致または賛成多数により、原案どおり可決または承認しました。主な内容は以下のとおりです。(1万円未満は四捨五入しています。)

新型コロナウイルス感染症対応

医療・福祉

医療費の公費負担等
……………26億5,924万円
感染症患者の医療費およびPCR検査費などの公費負担の増額

高齢者等インフルエンザ予防接種費用の助成…9億502万円
定期予防接種の対象者となっている65歳以上の高齢者などの予防接種費用が無料となるよう自己負担分を助成

医療機関配付用衛生用品の備蓄
……………7億8,150万円
感染拡大時に救急医療機関や帰国者・接触者外来等の医療機関へ配付する医療用マスクなどの備蓄

自宅療養者配食サービス事業
……………7億2,054万円
自宅療養者への配食サービスおよび生活用品などの緊急療養支援セットの配付

子ども・妊婦インフルエンザ予防接種費用の助成…2億9,480万円
生後6カ月から小学2年生までの子どもと妊婦の予防接種費用を1回当たり1,000円助成

リアルタイムPCR 検査機器等の整備補助 …1億1,500万円
リアルタイムPCR検査機器等を整備する医療機関などに対する補助

- 仕事・暮らし自立サポートセンターの体制強化……………1,874万円
- 救護施設職員に対する慰労金の交付……………390万円



教育・子ども

学校の情報通信ネットワーク環境整備等…34億5,113万円
ICTを活用した教育を推進するための校外ネットワークの増強や可動式プロジェクターの購入

児童福祉施設等の衛生用品購入等……………7億7,250万円
保育所、留守家庭児童育成会、トワイライトスクール等へのマスクの購入など

学校給食事業者補填金
……………4億6,342万円
学校給食事業者への4月・5月の臨時休校に伴う食材加工などの経費に対する補填金

スクール・サポート・スタッフの配置……………1億6,939万円
各学校において、清掃やプリントの印刷など、教員の業務支援を行うスクール・サポート・スタッフを配置

- 3カ月児健康診査の個別実施……………6,444万円
- 児童養護施設等への看護師派遣……………1,353万円
- 産前・産後ヘルプ事業利用料の軽減……………1,050万円



経済・その他

事業継続資金の利子補給
……………13億1,765万円
融資見込が5,074億円から1兆円に増加する見込みのため、利子補給額などを増額

中小企業の新しい生活様式対応支援……………4億5,200万円
新しい生活様式に対応した設備などを導入する市内中小企業者に対し、50万円を上限に補助

- 市施設における興行等開催の支援……………4億1,700万円
- テレワーク環境の整備……………5,800万円
- 事業者への感染防止対策協力金(専決処分)……………7億7,300万円
- 地方創生臨時交付金などに伴う財源更正等……………▲42億7,600万円
- 事業中止等に伴う事業費の減額……………▲4億7,585万円



その他

- 敬老パス対象交通拡大等の準備……………2億8,300万円
- 民間特別養護老人ホームの非常用発電機整備等補助……………2億3,063万円
- 名古屋市立大学への情報通信ネットワーク整備費等補助……………1億3,600万円
- 水難救助活動等用指揮艇の建造……………1,700万円
- 中村区役所等複合庁舎周辺道路無電柱化の設計……………1,400万円

▶「令和2年度名古屋市一般会計補正予算(第7号)」については、採決に先立ち、日本共産党から反対討論(理由:敬老パスの利用抑制につながる、利用上限回数の設定を前提とした準備費用が計上されている。)が行われました。

令和元年度決算認定案について「認定」または「可決及び認定」

■「令和元年度名古屋市一般会計歳入歳出決算の認定について」など各会計決算認定案19件については、全会一致または賛成多数により、「認定」または「原案どおり可決及び認定」しました。

一般会計の 決算状況

- 歳入決算額は1兆2,352億円余、歳出決算額は1兆2,232億円余でした。
- 前年度に比べ、歳入は304億円余増加し、歳出は266億円余増加しました。
- 翌年度繰越財源40億円余を差し引いた実質収支は79億円余の黒字でした。

▶「令和元年度名古屋市一般会計歳入歳出決算の認定について」は、採決に先立ち、日本共産党から反対討論(理由:金持ち優遇の市民税減税は見直すべき。中部国際空港の2本目滑走路建設や、リニアを前提とした名古屋駅前開発は見直すべき。市民合意のない名古屋城天守閣木造復元は中止するべき。)が行われました。

📄 提出案件の賛否、決算認定案の委員会審査については、4面をご覧ください。

議会運営委員会の構成変更について

減税日本ナゴヤに起因した議会の混乱等を受け、減税日本ナゴヤ所属の議会運営委員会理事などが相次いで変更となりました。

●議会運営委員会理事

9月4日	7月3日の大村光子議員の辞任に伴い、鈴木孝之議員が就任
9月29日	鈴木孝之議員が辞任 中川あつし議員が就任
10月12日	中川あつし議員が辞任

●議会運営委員

9月定例会の間に、大村光子議員から沢田ひとみ議員に変更となり、さらに、鹿島としあき議員に変更となりました。また、閉会後の10月30日に、鹿島としあき議員から浅井康正議員に変更となりました。

📄 議会運営委員会理事の変更の経緯については、4面をご覧ください。

9月定例会 提出案件の賛否

■以下の市長提出案件17件については、いずれも賛成多数により原案どおり可決、同意、認定または原案どおり可決及び認定しました。賛否と結果は下記の表のとおりです。

表の①は、次の4件です。(9月30日議決)
●令和2年度一般会計補正予算(第7号)など補正予算3件
●教育委員会の委員選任(同意第7号)
表の②は、次の13件です。(10月13日議決)
●令和元年度一般会計歳入歳出決算の認定など決算認定案13件

会派	議決結果		①	②
	氏名(区)		可決または同意	認定または可決及び認定
自民	伊神邦彦議員(千種区)		○	○
	中川貴元議員(東区)		○	○
	渡辺義郎議員(北区)		○	○
	浅野有議員(西区)		○	○
	斉藤たかお議員(中村区)		○	○
	小出昭司議員(中村区)		○	○
	中田ちづこ議員(中区)		○	○
	西川ひさし議員(昭和区)		○	○
	ふじた和秀議員(瑞穂区)		○	○
	服部しんのすけ議員(熱田区)		○	○
	岡本善博議員(中川区)		○	○
	浅井正仁議員(中川区)		○	○
	吉田茂議員(港区)		○	○
	横井利明議員(南区)		○	○
	藤沢ただまさ議員(南区)		○	○
	松井よしのり議員(守山区)		○	○
	北野よしはる議員(守山区)		○	○
民主	中里高之議員(緑区)	議長	議長	
	岩本たかひろ議員(緑区)		○	○
	丹羽ひろし議員(名東区)		○	○
	成田たかゆき議員(天白区)		○	○
	斎藤まこと議員(千種区)		○	○
	山田昌弘議員(千種区)		○	○
	服部将也議員(北区)		○	○
	うえぞの晋介議員(西区)		○	○
	うかい春美議員(中村区)		○	○
	塚本つよし議員(中区)		○	○
	おくむら文悟議員(昭和区)		○	○
	久田邦博議員(瑞穂区)		○	○
	森ともお議員(熱田区)		○	○
	久野美穂議員(中川区)		○	○
	赤松てつじ議員(中川区)		○	○
	加藤一登議員(港区)		○	○
	橋本ひろき議員(南区)		○	○
減税	小川としゆき議員(守山区)		○	○
	岡本やすひろ議員(緑区)		○	○
	日比美咲議員(名東区)		○	○
	田中里佳議員(天白区)		○	○
	手塚将之議員(千種区)		○	○
	佐藤ゆうこ議員(東区)		○	○
	田山宏之議員(北区)		○	○
	鹿島としあき議員(西区)		○	○
	豊田薫議員(中区)		○	○
	大村光子議員(昭和区)		○	○
	中川あつし議員(中川区)		○	○
	沢田ひとみ議員(港区)		○	○
	河本ゆうこ議員(守山区)		○	○
	増田成美議員(緑区)		○	○
	余語さやか議員(緑区)		欠	欠
	浅井康正議員(名東区)		○	○
	鈴木孝之議員(天白区)		○	○
公明	田辺雄一議員(千種区)		○	○
	長谷川由美子議員(北区)		○	○
	さわだ晃一議員(西区)		○	○
	中村満議員(中村区)		○	○
	木下優議員(中川区)		○	○
	吉岡正修議員(港区)		○	○
	さかい大輔議員(南区)		○	○
	金庭宜雄議員(守山区)		○	○
	近藤和博議員(緑区)		○	○
	小林祥子議員(名東区)		○	○
	三輪芳裕議員(天白区)		○	○
	岡田ゆき子議員(北区)		×	×
	江上博之議員(中川区)		×	×
	さはしあこ議員(緑区)		×	×
	さいとう愛子議員(名東区)		×	×
	田口一登議員(天白区)		×	×
	無会前田えみ子議員(瑞穂区)		○	○

○…賛成 ×…反対 欠…欠席 議長…議長のため議決に参加できない

■以下の26件については、いずれも全会一致により原案どおり可決(決算認定案については認定、人事案件については同意、専決処分については承認)しました。

市長提出案件(21件)

- 条例案
- コミュニティセンター条例の一部改正
●道路附属物自動車駐車場条例の一部改正
●中高層建築物日影規制条例の一部改正
- 児童福祉施設条例の一部改正
●建築基準法施行条例の一部改正
●地区計画等の区域内における建築物の制限に関する条例の一部改正
- 補正予算
- 令和2年度基金特別会計補正予算(第5号)など3件
- 一般案件
- 契約の締結 ●指定管理者の指定の変更 ●市道路線の認定及び廃止
- 決算認定案
- 令和元年度介護保険特別会計歳入歳出決算の認定など6件
- 人事案件
- 教育委員会の委員選任(同意第8号)
- 専決処分
- 市税条例の一部を改正する条例の制定に関する専決処分
●補正予算に関する専決処分



議員提出議案(5件)

- 意見書
- 集中豪雨に備えた河川改修及び雨水管渠等の整備に関する意見書
河川の改修・維持修繕や雨水管渠の整備・維持修繕に対する財政支援を拡充することなどを強く要望するものです。
●少人数学級の推進を求める意見書
教職員定数の改善や施設整備に係る予算を拡充し、全国統一的な制度として少人数学級を推進するよう強く要望するものです。
●防災・減災、国土強靱化対策の継続・拡充を求める意見書
地方公共団体が国土強靱化地域計画に基づき実施する対策に必要な予算の総額を確保することなどを強く要望するものです。
●新型コロナウイルス感染症の影響に伴う地方財政の急激な悪化に対し地方税財源の確保を求める意見書
地方の安定的な財政運営に必要な地方税・地方交付税等の一般財源総額を確保することなどを強く要望するものです。
- 意見書の全文は、名古屋市ウェブサイト(市会情報)でご覧いただけます。
- その他
- 地域環境審議会委員の推薦

令和元年度決算認定案の委員会審査

■各会計決算認定案19件について、常任委員会で審査された項目の一部をご紹介します。

総務環境委員会	○令和元年度の焼却灰の埋め立て量を踏まえた焼却灰の資源化に対する考え方、および食品ロス削減に向けた取り組みに対する見解 ○住民票の写しなどのコンビニ交付の導入に対する認識
財政福祉委員会	○いのちの支援なごやプランを踏まえた自殺対策に対する考え ○陽子線治療施設整備事業に係る訴訟に要した主な費用
教育子ども委員会	○区役所・支所における児童虐待への対応体制 ○なごや子ども応援委員会における子どもや保護者との信頼関係構築のための取り組み、およびスタッフの育成
土木交通委員会	○バス事業における民間活力の導入状況、およびその効果 ○河村市政における道路・街路樹・公園に係る維持管理費、および施工量の推移
経済水道委員会	○商店街の活性化に向けた取り組み内容、および従来の施策に捉われない商店街支援の検討状況 ○令和元年度の経緯を踏まえた名古屋城天守閣木造復元の竣工時期に係る認識
都市消防委員会	○令和元年度に実施した名古屋駅周辺地下公共空間整備の検討内容、および早期事業化に向けた認識 ○感震ブレーカー設置助成の執行率の低さの原因と、木造住宅密集地域とその他地域との助成率の差に関する認識

委員会の議論の様子は、名古屋市ウェブサイト(市会情報)から録画中継を視聴できます。

議会運営委員会理事の変更の経緯について

減税日本ナゴヤに起因した議会の混乱を受け、減税日本ナゴヤ所属の議会運営委員会理事が相次いで変更となった経緯は、以下のとおりです。

- 9月2日に減税日本ナゴヤから、委員間討議についての申し入れがあり、各常任委員会で申し入れに対する確認が行われました。
- その際、申し入れの内容について、減税日本ナゴヤ会派内の意見が一致していなかったため、議会が混乱する事態となりました。
- これを受け、9月25日に鈴木孝之議員から議会運営委員会理事の辞任願が、9月25日および9月28日に減税日本ナゴヤから役員変更届が提出され、9月29日の議会運営委員会において、鈴木孝之議員が理事を辞任し、中川あつし議員が理事に就任しました。
- ところが、その後も、減税日本ナゴヤの団長である佐藤ゆうこ議員が、7月2日に委員会の運営に関する他会派の控室での交渉を無断で録音していたことが明らかとなったことなどを受け、議会の混乱が続きました。
- そして、10月8日に中川あつし議員から議会運営委員会理事の辞任願が、減税日本ナゴヤから役員変更届が提出され、10月12日の議会運営委員会において、中川あつし議員が理事を辞任しました。

※名古屋市会では、平成23年度から、市会だよりの毎月発行化に向け、予算要求をしていますが、残念ながら、河村市長から『回数をふやすことは、必要性、費用対効果の面で疑問がある』として、毎月発行化は認められていません。よって、今年度も現時点では年7回の発行を予定しています。